

信州大学医学部附属病院 第二内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年3月7日

「自己免疫性脾炎合併脾嚢胞」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報公開が必要とされています。

倫理審査承認番号	3955
研究課題名	自己免疫性脾炎合併脾嚢胞に対するステロイド治療の有用性と嚢胞関連合併症の検討
所属(診療科等)	第二内科
研究責任者(職名)	倉石康弘(信州大学医学部附属病院第二内科・医員)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2020年3月31日
研究の意義、目的	自己免疫性脾炎合併脾嚢胞の適切な管理・治療法を明らかにすることを目的とした研究で、将来の医療の進歩に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	1994年1月1日から2017年12月31日の期間に当院で自己免疫性脾炎について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	被験者背景、性別、年齢、入院・外来の別、嗜好歴、ステロイド使用の有無、合併症、既往歴、現病歴など
研究方法	AIP 合併脾嚢胞は 10 mm以上の嚢胞と定義し、以下の項目に関して検討します。1)脾嚢胞合併 AIP と非合併 AIP の患者背景の比較。2)ステロイド治療群と非治療群の約1ヶ月後の嚢胞縮小率、1年以内嚢胞消失率の比較。3)嚢胞関連合併症のリスク因子、を明らかにします。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 倉石康弘(信州大学医学部附属病院第二内科・医員) 電話: 0263-37-2634

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用するご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります、引き続き使わせていただくことがあります。